

The Sapporo Chamber of Commerce and Industry

会議所通信

当コーナーでは、当所が取り組むホットな事業をご紹介します。

10/17 極東ロシアハバロフスク現地視察と、商談会・セミナーを開催

当所産業資材部会などが共催で、北海道と同様に積雪寒冷地である極東ロシアのハバロフスクへの視察、商談会を行った。

ロシアビジネスに関心のある、道内企業八社が参加し、寒冷地技術・製品をテーマとしたセミナーと商談会を開催。当日は、地元テレビ局の取材を受けるなど、現地での関心の高さが伺えた。



ロシアビジネスマンで満員の会場

10/31~11/4 さつぼろ菊まつりにて北のブランド・道産米粉フェアを開催

秋の風物詩「さつぼろ菊まつり」が今年も開催された。

これに伴い、メイン会場である駅前通地下歩行空間にて、北のブランド・道産米粉フェアを開催



市民に向けて当所事業のPRを行った

エアを開催し、北のブランド認証商品と道産米粉を使用した商品販売した。

11/4~7 新千歳ーバンコク線就航を記念しタイを訪問

新千歳ーバンコク線直行便就航記念として、高橋はるみ北海道知事を団長とする訪問団がタイを訪れ、タイ国際航空をはじめ、タイ国政府観光庁など関係各所を表敬訪問した。

当所からは伊藤義郎名誉会頭が参加し、就航記念レセプションのあいさつでは就航の喜びを語った。



タイ国際航空表敬の様子

11/5~30 釜石商工会議所へ当所職員を派遣し、現地相談体制を支援

東日本大震災で被害を受けた地域産業の再生・復興対策に注力している釜石商工会議所を支援しようと、当所から職員一名を一カ月にわたり派遣し

た。現地では、事業所データの復旧整備作業、復興再建に関する調査業務などを支援した。



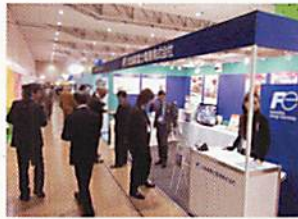
相談窓口で対応する当所職員(左)

11/7~10 全国の商工会議所ネットワークを活用 名古屋商工会議所主催 日本最大級の異業種展示会「メッセナゴヤ2012」へ出展

名古屋商工会議所が主催する大規模展示会「メッセナゴヤ」が名古屋市で開催された。当所では、商工会議所ネットワークを活用した全国への販路開拓支援に取り組んでおり、その一環として今回、(株)エルコムと、北海道磁気印刷(株)の二社が出展した。期間中、来場者は六万一千人を超え、商談や情報交換で会場は賑わった。

11/8-9 第二十六回ビジネスEXPO
「省エネ・耐震・防災フェア」
「北のブランド・ものづくりフェア」

道内企業の技術、商品を広くPRする展示会「ビジネスEXPO」がアークス札幌にて開催され、当所からは、「省エネ・耐震・防災フェア」、「北のブランド・ものづくりフェア」として、出展した。当日は、約一万八千人の来場者に対し、当所会員企業による省エ



会場の様子

ネ・耐震・防災をテーマとした技術・製品の紹介や、北のブランド認証企業による製品PRを行った。

11/8-9 貿易実務講座「実践編」の開催

今年六月に開催した貿易実務講座「入門編」の続編として「実践編」を開講した。二日間にわたり、貿易実務のケーススタディとして、貿易取引の準備からマーケティングや貿易交渉などの実務を学んだほか、貿易実務で使用する英文書類を実際に作成するなど、貿易英語についても講義の中で解説した。

11/14 新エネルギービジネスフォーラム
「風力発電を活かすビジネスモデル」

今年七月の再生可能エネルギー固定価格買取制度のスタートにより、全国的に再生可能エネルギーと関連ビジネスへの注目が高まっている。中でも道内は、風力発電の適地として広く知られていることから、当所では、「風力発電を活かすビジネスモデル」と題したフォーラムを開催。



パネルディスカッションの様子

野村リサーチ・アンド・アドバイザー(株)の高橋浩明氏をお招きし、風力発電の展望について講話いただいたほか、道内の風力発電に携わる方々を交え、パネルディスカッションを行い、風力発電が生み出す市場規模について議論を交わした。

11/14 金融・保険部会主催
北海道財務局長吉田英都氏を迎え、セミナー・交流会を開催

今年七月に北海道財務局長に着任した吉田英都氏をゲストに迎え、北海道経済の現状や中小企業金融円滑化法終

了後(来年四月以降)の中小企業経営支援政策パッケージなどについて説明いただいた。



吉田英都財務局長

その後、参加者を交えて交流会を開催し情報交換を行った。

11/15 平成二十四年度第二回
札幌市内中国語通訳者懇談会

市内中国語通訳者ならびに通訳者を目指して学習中の方々を対象に、中国語の通訳能力の向上や、ネットワークづくりを目的に開催している懇談会。

第二回目となる今回はゲスト講師として、札幌大学孔子学院院長張偉雄氏を迎え「異文化の架け橋としての通訳」をテーマに、中国語を交えて意見交換を行った。

11/16 第二回トレンド情報セミナー
「韓国の食文化戦略と世界最先端のインバウンド戦略」

アジア圏からの観光客は今の北海道に何を求めて来道するのか? アジア圏観光客のおもてなし向上事

業として、トレンド情報セミナーの第二弾を開催した。

講師は、(株)JTB総合研究所客員研究員金振晩氏。韓国食文化の世界化戦略である「韓食世界化事業」を事例として取り上げ、北海道観光振興におけるヒントを探った。

11/22 企業の新たな価値創造塾キックオフフォーラム
「社会と企業の両方に価値を生み出す取り組みとは?」

当所では、多様化する社会問題に向き合い、本業を活かし課題解決に資することで企業の価値を高めるといった従来のCSR活動から一歩踏み出した企業経営「について学ぶ「企業の新たな価値創造塾」を来年一月より開設する。

今回は、それに先立ちキックオフフォーラムを開催。(株)クレアンのCSRコンサルタント水上武彦氏の基調講演の後、水上氏を交え、パネルディスカッションを行い、「これからの企業経営のあり方」について市内企業の事例を参考にしながら、議論を深めた。

最後に参加者へ「企業の新たな価値創造塾」への参加者募集を呼びかけた。

11/22

**北海道新幹線
建設工事現場視察と
「地域活性化フォーラム」**

北海道新幹線新函館(仮称)開業まで三年余りとなり、道南地域では、建設工事が佳境を迎え、さまざまな地域の取り組みが進められていることから、現地視察会を開催した。

当日は、高向会頭、布施副会頭、勝木地域開発委員長をはじめ、五十五名が参加し、新函館駅(仮称)設置予定地や、総合車両基地などを視察した。

その後開催された、北海道新幹線地域活性化フォーラムでは、「北海道新幹線開業効果拡大に向けて」と題したディスカッションに高向会頭がパネリストとして参加し、駅名の早期決定とオール北海道として機運醸成に取り組みむ必要性を訴えた。



建設が進む工事現場

11/26-27

**ホテル・観光施設編
英会話ブラッシュアップ講座**

海外からのお客様を迎える際、接客現場では共通語として英語が最も有効とされている。英語力の向上は、お客様満足度向上につながることから、業種ごとの英会話ブラッシュアップ講座を開催した。

今回は「ホテル・観光施設編」として、現場で使用する英語表現を学んだ。

11/27

**スキー人口増加を目指して
スキー場関係者との意見交換会**

現在、スキー人口がピーク時(一九九三年)の約六十%まで減少している現状を受け、札幌の冬の観光資源であるウインタースポーツの普及促進を図るため、スキー場関係者との意見交換会を開催した。

スキー場の現状などについて情報交換を行い、ウインタースポーツ人口を増大させるための新たな取り組みを丸となつて行うことに同意を得た。

11/27

**総合建設関連部会
建設コンサルタント分科会
情報交換会・交流会**

総合建設関連部会建設コンサルタ

ント分科会を開催。当日は、札幌市市民まちづくり局交通計画課長の坪田靖氏をお招きし、「札幌市総合交通計画」人口減少時代を見据えて、また、当分科会から、日本データーサービス(株)計画調査部課長の澁谷健一氏より「津波防災対策について」産学官の取り組み事例紹介」と題して情報提供いただいたほか、当所より、北海道新幹線開業時期の前倒しへ向けた提言「札幌広域圏の総合交通体系のグランドデザイン」を説明した。その後、参加企業間で懇親会を開催した。

11/29

**インターネットショッパ構築
ウェブサイトパワーアップ
オープンセミナー**

ヒットするウェブサイトには、どんな特長があるのか。さつぱろ雇用創造協議会主催、当所実施主体の地域雇用創造推進事業の一つとして、求職中、転職希望者、または創業を考えている方を対象に、ウェブサイトパワーアップセミナーを開催した。



当日は、およそ100人が参加した

開催した。第一部は、(株)ナレッジ情報コンサルテイング代表取締役の山口雅

嗣氏より、自社で簡単にできるクラウド活用術について、第二部では、(有)イモイコレクションズ常務取締役の高島和博氏より、長く売り続けるネットショッパ運営の成功事例などについて講話いただいた。

**秋の叙勲・褒章で高薄浩志氏、
横浜慶彦氏が受賞**

平成二十四年秋の叙勲・褒章が発表された。

これまでの社会の発展に尽力した数々の功績により、当所議員の、高薄浩志氏(北海自動車工業(株)取締役会長)が旭日小綬章、横浜慶彦氏(北海道火災共済協同組合理事長)が黄綬褒章を受章された。



横浜氏



高薄氏